

## kintone 製販一体型・実行予算管理システム

分散したExcel管理から脱却し、顧客・案件・原価・入出金を一元化  
住宅建築事業の業務効率化とキャッシュフロー最適化を実現

顧客情報や案件情報、発注、原価、入出金を一元管理し、業務効率化とキャッシュフロー最適化を行いたい。

住宅の設計・施工を手がけるA建築設計・施工業者様様は、このような狙いで「kintone 製販一体型・実行予算管理システム」を導入を決めました。

分散していた情報を集約し、業務負担の軽減と利益・資金管理の精度向上を実現しています。

課題

分散した情報をまとめて管理したい

正確な工事収支と資金繰りを把握したい

顧客・案件・原価情報を一元化し  
確認工数を削減！

発注・原価・入出金の見える化で  
利益管理を強化！

効果

## 背景と課題

## 乱立するExcel運用の限界

これまで、業務に対応するためにExcelを個別に作成してきたため、必要以上にファイルが増えてしまい、同じ内容を複数の資料へ入力する場面が多く発生しておりました。どの資料が最新なのか分からなくなることもあり、社内で情報共有を行う際にも、まず確認作業に時間がかかってしまう状況でした。

また、工事台帳のように同じ役割を持つExcelが複数存在していたことで、管理が複雑化し、正確なキャッシュフローの把握が難しくなっておりました。さらに、A社と系列会社であるB社の売上や実行予算が混在しやすく、案件ごとの採算や工事原価を正しく把握しづらいことも課題でした。工事の進捗状況も明確に見えにくく、過去案件の売上や発注金額の分析まで十分に行えない状態で、結果として利益管理にも影響が出ておりました。

## 選定と導入

## 現場に寄り添う業務一元化基盤

もともと私たちの中には、「このままExcel中心の運用を続けていけば、今後さらに管理が難しくなる」という危機感がありました。顧客情報や案件情報、発注、原価、入出金などの情報が分散しており、確認や更新に手間がかかっていたためです。

そうした中で、スターシステム様からkintoneを活用したシステム構築のご提案をいただきました。既製品を当てはめるのではなく、当社の業務に合わせて柔軟に仕組みを作れる点に魅力を感じました。

実際には、顧客管理や案件管理を中心に情報を一元化し、発注や原価、請求、入出金まで連携できる構成をご提案いただきました。さらに、自動反映や帳票出力など、業務に直結する機能を実装できる点も導入の決め手となりました。

単なるシステム導入ではなく、「業務に合わせて育てていける仕組み」であると感じられたことが、kintoneとスターシステム様を選んだ理由です。

## 成果と今後

## 収支の見える化による経営基盤強化

導入前は、複数のExcelを確認しながら情報を探す必要があり、同じ内容を何度も入力するなど、業務に多くの手間がかかっていました。導入後は、顧客情報や案件情報、発注、原価、入出金といった情報を一元管理できるようになり、必要な情報をすぐに確認できる環境が整いました。

また、案件ごとの原価や収支が見える化されたことで、これまで感覚に頼っていた判断も、数字をもとに行えるようになりました。発注や請求、入出金の流れも把握しやすくなり、キャッシュフローの管理面でも安心感が高まっています。

今後は、蓄積されたデータを活用しながら、案件ごとの分析や利益改善にもつなげ、より効率的な業務運営を実現していきたいと考えています。